

第1回世代間交流事業「手すき和紙（細川紙）を作ろう」

- 開催日 : 平成28年5月14日（土）
- 会場 : 埼玉県県民活動総合センター 1階 内モール
- 講師 : 埼玉県小川和紙工業協同組合 内村久子 氏ほか2人



素敵な作品ができたらいいな～



前後に両手を動かしてえ～



細川紙の水分を吸い上げる内村先生夫妻



パパと一緒にだと楽しいね

・・・内容・・・

埼玉県小川和紙工業協同組合で伝統工芸士 内村久子さんほか2人を講師に招き、伝統的な手すき和紙（細川紙）作りを体験しました。細川紙は、約1300年の歴史があり、国の重要無形文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されております。

体験された皆様は、熱心に先生の注意に耳を傾け、夢中で世界でたったひとつの自分だけの作品づくりに集中されておりました。先生方も丁寧に分かりやすい説明をされ、とても好評でした。

会場には、原材料の楮こうぞのそれぞれの作業工程の見本が置かれ、楮の栽培から細川紙ができるまでの工程のDVDを上映しました。細川紙の魅力を知った方の中には、もう1度体験される方や詳しい質問をされる方もいらっしゃいました。